

児童相談所における相談対応件数が10万件を突破した子ども虐待。
「子育てに一所懸命」な養育者を何が追い詰めていくのか。

正しい子育てって なんですか？

—新しい子育ての形を社会としてつくる—

「愛知県武豊町3歳児餓死事件」「大阪2児置き去り死事件」、そして「厚木男児遺体放置事件」と、数々の児童虐待事件取材してきた杉山春さんにご講演いただき、私たちの“社会”において、子どもの命が失われる悲劇を繰り返さないために何ができるかを考えていきます。



『誰もがSOSを求めて声を上げていいのだ
ということが常識になり、良質なリソース
が社会に溢れるようであれば、子どもたち
も、親も元気を取り戻すのではないか。』

—杉山春著 最新刊「児童虐待から考える
社会は家族に何を強いてきたか」より



2018年5月26日(土)

12:30~14:00 (受付12:15~)

- 会場 ドーンセンター 大会議室3
(大阪府立男女共同参画・青少年センター)
- 定員 60人
- 参加費 800円 (参加費はCAPセンター・JAPAN
の活動に充てられます)

※CAPセンター・JAPANの定時総会にご出席の正
会員の方は300円です。

講師 杉山 春 (すぎやま はる) さん

講師プロフィール

1958年東京都生まれ。

早稲田大学第一文学部卒業。雑誌編集者を経て、フリーランスのライターに。子育てや親子問題、あるいは子殺しなどをテーマに取材・執筆。著書に、『満州女塾』(新潮社)、『ネグレクト 育児放棄—真奈ちゃんは何で死んだか—』(小学館。第十一回小学館ノンフィクション大賞受賞作)。

さらに2012年に大阪で二人の子どもが餓死させられた事件を取り上げ、表面的なマスコミ報道ではうかがい知れない掘り下げ方で『ルポ虐待—大阪二児置き去り死事件』(ちくま新書)を書き上げ、子どもの虐待問題の根底にあるものをあぶりだした。他に『移民還流』(新潮社)、『家族幻想—「ひきこもり」から問う』(ちくま新書)など。

最新刊は『児童虐待から考える 社会は家族に何を強いてきたか』(朝日新書)。

会場案内

ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

大阪府大阪市中央区大手前 1-3-49

- 京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通過して1番出口より東へ約350m。
 - 地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。
 - JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。
- 駐車場：あり（30分ごとに200円）



お申込み（4月1日以降受付）

FAXでお申し込みの場合は下記の申込書にご記入のうえ送信、メールでのお申し込みの場合は本文に下記の項目を入力し、お申し込みください。

定員に余裕がある場合は、当日ご参加いただくことができますが、お席の確保のためお早目にお申込みいただきますようお願いいたします。参加費は当日受付にてお支払いください。

ご不明な点などがありましたら、事務局までお問い合わせください。



TEL: (06)6648-1120
FAX: (06)6648-1121
E-mail: info@cap-j.net

NPO 法人

CAP センター・JAPAN

暴力防止に関する社会教育の推進・啓発活動、CAP（キャップ・子どもへの暴力防止）プログラム実践者の養成などを行っています。CAPプログラムの普及を通して、子ども自身の人権意識をはぐくみ、また家庭や学校、地域の連携を促進することで、子どもへのあらゆる暴力を許さない社会、子どもの人権が尊重される社会の実現をめざしています。

〒545-0051

大阪府大阪市阿倍野区旭町 2-1-1-104

HP <http://cap-j.net/>

<https://www.facebook.com/capc.japan>

twitter: @CAPCENTERJAPAN

.....きりとり.....

【5月26日開催】講演会 参加申込書

2018年 月 日

お名前:

所属先/職種:

緊急連絡等に使用しますので以下必ずご記入ください。

連絡先: TEL

FAX/E-mail

※定員に達している場合はご連絡差し上げますので、連絡先は必ずご記入ください。

※同日開催のCAPセンター・JAPANの定時総会にご出席の会員の方も申込みをお願いします。